

2021 年度東海地区協議会研究会（準備会）議事録（確定）

日 時 2021 年 2 月 22 日（月）15：30～16：50
場 所 Web 会議
出 席 松野・丸（椋山女学園大学）、石川（日本福祉大学）、杉山（藤田医科大学）、
小林（愛知医科大学）、田島（愛知学院大学）、加藤（愛知工業大学）、
山田（愛知淑徳大学）、田中（金城学院大学）、石橋（皇學館大学）、
古川（中部大学）、林（東海学園大学）、澤木（名古屋女子大学）、
大橋（人間環境大学）、川村（名城大学）
計 14 校 15 名

配布資料 1. 東海地区協議会研究会運営委員会名簿 2021 年度（案）
2-1. 2021 年度研究会事業計画（案）
2-2. 2021 年度研究会事業計画（検討事項）
3. 2021 年度研究会運営委員会の役割分担について（案）
4. 東海地区協議会ウェブサイト年度更新作業について
5. 研究会運営委員会開催日程について

議事進行は、2021 年度委員長校の椋山女学園大学・松野が担当した。
※議事録作成にあたり、一部、配付資料タイトルと資料番号を整理した。

議 題

1. 東海地区協議会研究会運営委員会名簿 2021 年度（案）
2021 年度委員長校から、資料 1 に基づき説明があった。続いて、名簿順に自己紹介を行った。
2. 2021 年度研究会事業計画（案）
2021 年度委員長校から、資料 2-1 に基づき説明があった。2021 年度主幹事校から研究会について、詳細は運営委員会で検討を要するが 2020 年度実施予定の内容を引き継ぐ、開催時期は講師の都合次第となるが後期 1 回のリモートによる開催としたいと提案した。
次いで、2021 年度委員長校から実務担当者研修会について、新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せない現状を踏まえると、2020 年度のように計画変更を繰り返すことは委員の負担が大きい、オンライン形式で 2 日間の開催は難しいことを考慮する必要があるとの説明があった。委員からは、実務担当者研修会を 2021 年度は中止し 2022 年度へ延期する、研究会 1 回を開催とするとの提案があった。協議の結果、実務担当者研修会の開催は 2022 年度に延期し、研究会を 1 回開催とすることで了承された。
次いで、2021 年度副幹事校から「館灯」編集が 2 年分の作業となるので余裕をもって作業を進めたい、巻号付けの取扱いは今後常任幹事会の判断となる旨の報告があり、

了承された。

次いで、今年度副幹事校（人間環境大学）から、今年度の作業がほぼできなかった
ので、引き続き「館灯」編集方針・マニュアル作成等の作業を2021年度副幹事校（藤
田医科大学）と協力して行いたいとの提案があり、了承された。

なお、今後は、2021年度主幹事校からNIIへ改めて講師依頼を行い、内容と時期を
詰め、適宜、運営委員へ報告し情報共有することが了承された。

その他、委員からは、次の指摘があった。

- ・実務担当者研修会の開催を延期する場合は、「館灯」の原稿締切日を見据え、研究会
は後期の早い時期に行うこと。
- ・研究会が1回の場合は、加盟会費を減額することも必要であるので、最終的には常
任幹事会の判断となる。
- ・研究会アンケート実施については、事業計画案には見当たらず、最近は実施もして
いない。負担も大きいので必ず毎年実施しなくてもよいのではないか。

3. 2021年度研究会運営委員会の役割分担について（案）

2021年度委員長校から資料3に基づき説明があり、委員の発言を求めた。委員から
は、5のコンテンツ係は年度更新について4月の常任幹事会で承認を得る必要がある
ので、今日決めなければいけないのではないかと指摘があった。

協議の結果、コンテンツ係は、名古屋女子大学（継続）、東海学園大学（継続）、愛
知医科大学（新規）の3校で担当する、実務担当者研修会WGの分担は継続審議とす
ることです承された。

4. 東海地区協議会ウェブサイト年度更新作業について

今年度のコンテンツ係から資料4に基づき説明があった。2021年度委員長校から常
任幹事会（2021年4月開催）で承認を得る旨の提案があり、了承された。

5. 研究会運営委員会開催日程について

2021年度委員長校から資料5に基づき説明があり、常任幹事会（2021年4月開催）
の前に運営委員会を行いたいと提案した。協議の結果、2021年4月19日（月）13:30
で行うことが了承された。

6. その他

2021年度委員長校から、愛知工業大学は理事校として情報共有のために研究会運営委
員会に参加をお願いしているので、役割分担はお願いしない旨の提案があり、了承された。

以 上